

CTP 自販機

印刷物における自動Impositionソリューション



Printing Process / 面付け 自動化・無人化・省力化

Printing Process

Computer to Plate(CtP)

Plate to Unit

ファイル検査

面付け

刷版印刷

印刷機

自動化・無人化・省力化では不毛の地

Manufacturing company
自動化・無人化(Smart Factory)へ

BOOKTORYは、CTP自販機を利用して
不毛の地である自動化・無人化・省力化を実現

CTP自販機



- 面付け(Imposition)の担当者
経験不要で、誰でもできる
他の業務と兼任できる(専任者不要)
- 面付け(Imposition)にかかる時間
本1冊に当たり、4分所要
8時間に100件以上処理できれば、残業や2直がなくなる
- テレワーク(Telework)
夜間作業はテレワークで処理
- 年中無休
- コールセンター
自動機で処理できない作業に備え、
BOOKTORYがコールセンターを運営

Computer to Plate(CtP)

ファイル
検査

面付け

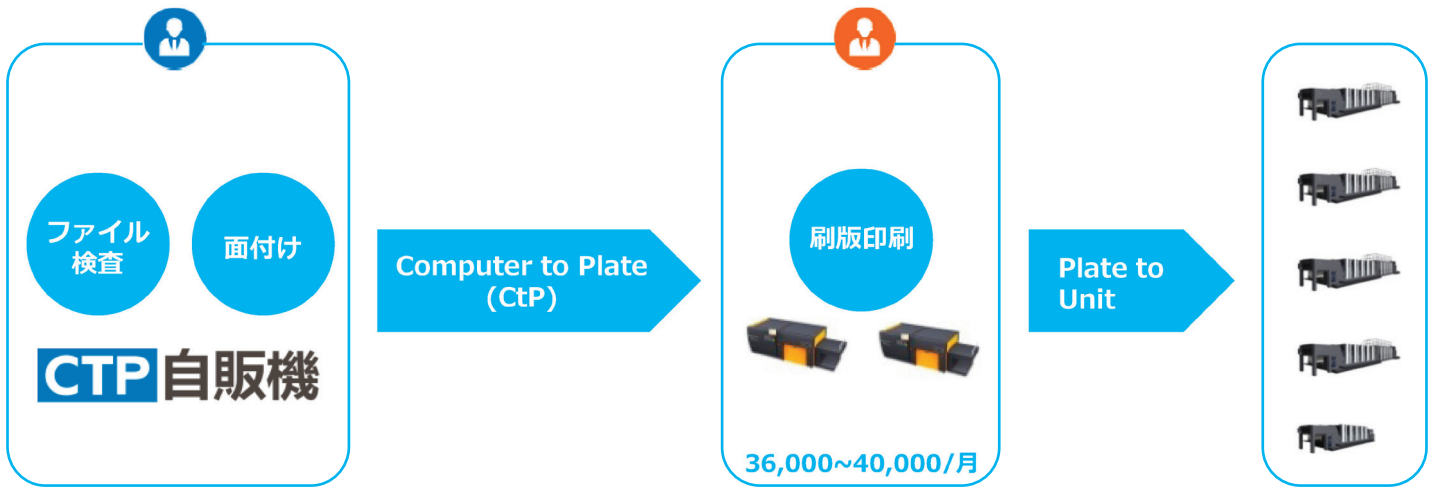
刷版出力



人・時間・場所に依存しない

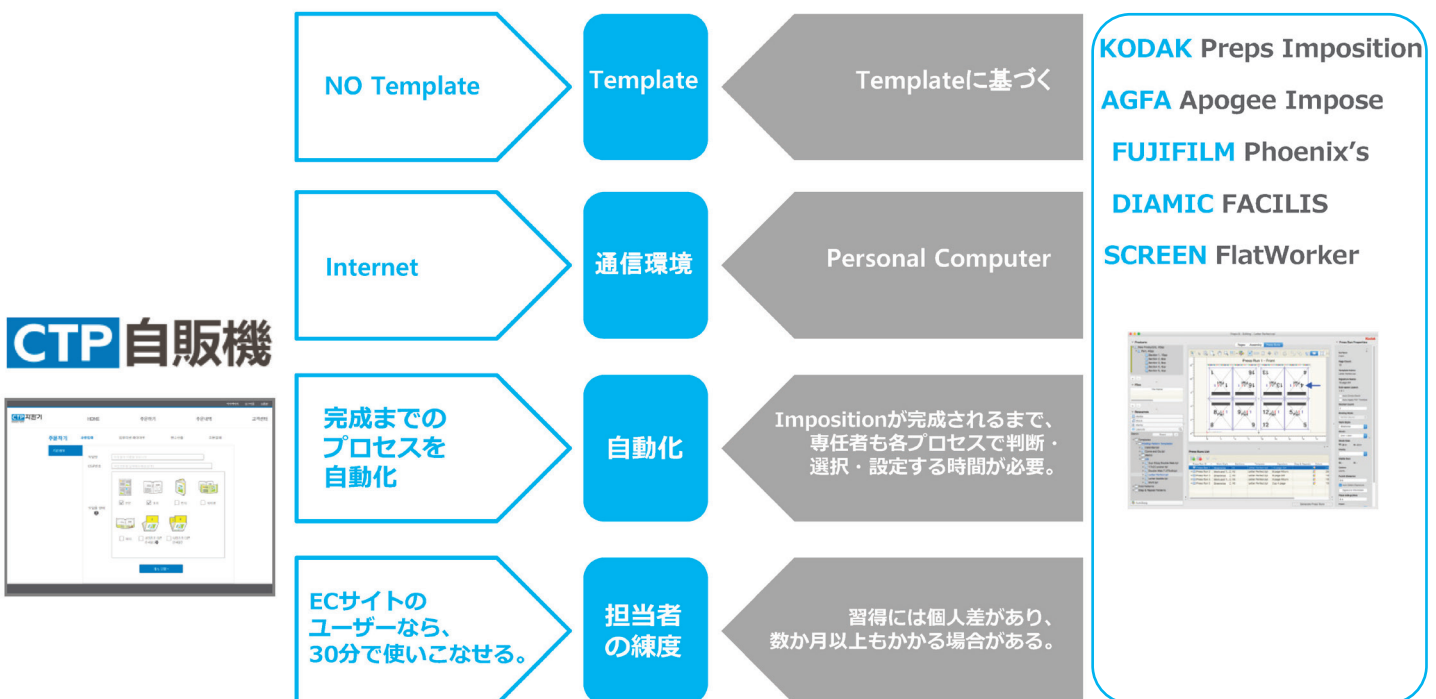
全プロセスを自動処理することで、
Human Error(作業員のミス)を削減

BOOKTORY CTP 運営,人員配置 2人

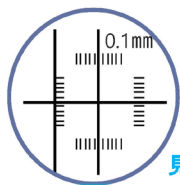


労働時間帯	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
1人									1	2	3		4	5	6	7	8							
1人													1	2	3	4	5		6	7	8			
無人	1	2	3	4	5	6	7	8				9						10				11	12	13
全従業員は8時間労働	無人CTP出力時間(13時間)																							

CTP自販機と他のSYSTEMの比較



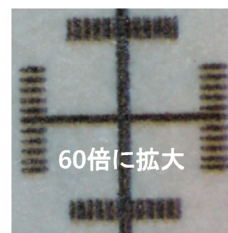
CTP自販機の機能 / 見当合わせ, Impositionと印刷の生産性



見当合わせ



素人でも簡単に合わせることができる
機長が行う見当合わせが不要に！



60倍に拡大

Y(yellow)のところが
0.1mmほどズレている

トンボの形が印刷生産性に与える影響

見本	印刷生産量(1時間当たり)	15,000枚
	印刷生産量(1分当たり)	250枚
	見当合わせ作業時間(1回当たり)	3分
	作業台数(1日当たり)	20台

	一般センタートンボ	「CTP自販機」のセンタートンボ
見当合わせ作業回数(1台)	3回	1回
見当合わせ作業時間当たり印刷生産量(1台)	3分×3回×250枚=2,250枚	3分×1回×250枚=750枚
見当合わせ作業時間(1日)	3分×3回×20台=180分	3分×1回×20台=60分
見当合わせ作業時間当たり印刷生産量(1日)	2,250枚×20台=45,000枚	750枚×20台=15,000枚

※ センタートンボ(見当トンボ、register mark)

CTP自販機を使えば一般の印刷機よりも1日当たり+2時間分の増産が可能。

自販機利用Model 1 自社_面付け

CTP自販機

自ら
Imposition

Imposition済み
PDFファイルを
ダウンロード

印刷会社

自社の
出力機にて
出力



自販機利用 Model 2 自社_工場統合の面付け

印刷会社
工場1

全工場の
ファイルを
自ら
Imposition

CTP自販機

Imposition
PDFファイルを
ダウンロード

印刷会社
工場1

出力



印刷会社
工場2

出力



印刷会社
工場3

出力



印刷会社
工場4

出力

